

はじめに

近年、わが国においては、人々のライフスタイルや価値観の多様化などにより、食を取り巻く環境は大きく変化してきております。

食べたいものを、いつでも、どこでも自由に食べられる、便利で豊かな社会になった反面、食に対する意識の低下や食生活の変化などによる生活習慣病等の増加、また、食品の偽装表示に関する問題の発生などによる食の安全性に対する関心の高まり、さらには、食料自給率の向上や地産地消の推進に向けた取り組みなど、食に関する様々な課題への対応が、重要かつ喫緊の課題となっております。

改めて市民一人ひとりが、食の大切さを見直し、食に関する様々な課題を“自ら”の、あるいは“地域”の課題と捉え、それぞれの立場から主体的に実践するとともに、家庭や地域、学校、企業、行政など、食に関わる多様な主体が問題意識を共有し、一体となって取り組みを進めることが、ますます求められております。

「いわき市食育推進計画」は、こうした食を取り巻く現状や課題等を踏まえ、「食を通じて、市民一人ひとりが生涯にわたって、健やかで、こころ豊かに楽しく生活できるまちづくり」を基本理念とし、その実現に向けて、5つの基本目標や施策展開の方向性、食育の推進体制、さらには、今後5年間の計画期間における数値目標等を位置づけております。

私たちが暮らす「いわき市」は、東に太平洋を臨み、西に阿武隈高地を背にした広大な土地と温暖な気候のもとに、四季折々の“海の幸”“山の幸”“里の幸”といった豊かな自然の恵みを味わうことができる環境にあります。

今後、本計画に基づき、市民の皆様をはじめ、保健・医療関係、農林水産業関係、教育関係、食品関連団体など食に関わる様々な団体等との相互の連携・協力のもとに、こうした本市の地域特性を生かした「食育」を一層推進してまいりたいと考えておりますので、市民の皆様には、これまで以上に御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、真摯に御審議をいただきました「市食育推進懇談会」の皆様をはじめ、「食育座談会（ワークショップ）」やパブリックコメントを通じて貴重な御意見、御提案をお寄せくださいました市民の皆様や、御尽力をいただきました多くの方々へ心よりお礼を申し上げます。

平成21年3月

いわき市長 櫛田 一男

